

年金対話集会について（令和8年度の開催状況）

令和8年6月23日

厚生労働省 年金局総務課年金広報企画室

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

「学生との年金対話集会」 令和8年度の開催状況

■ 令和8年度開催実績の概要

- 令和8年6月23日時点、大学8校で、10回実施。
- うち2校では、地方厚生局と連携して開催。

■ 令和8年度実施校

【大学】

東北大学（2コマ開催） ※地方厚生局と共催
南山大学
大阪公立大学
小樽商科大学
近畿大学 ※地方厚生局と共催
関西学院大学
日本大学
北海道大学・北海道大学公共政策大学院

※ 今後、さらに22校で開催予定

■ 当日の様子

令和8年5月12日 東北大学



令和8年5月19日 南山大学



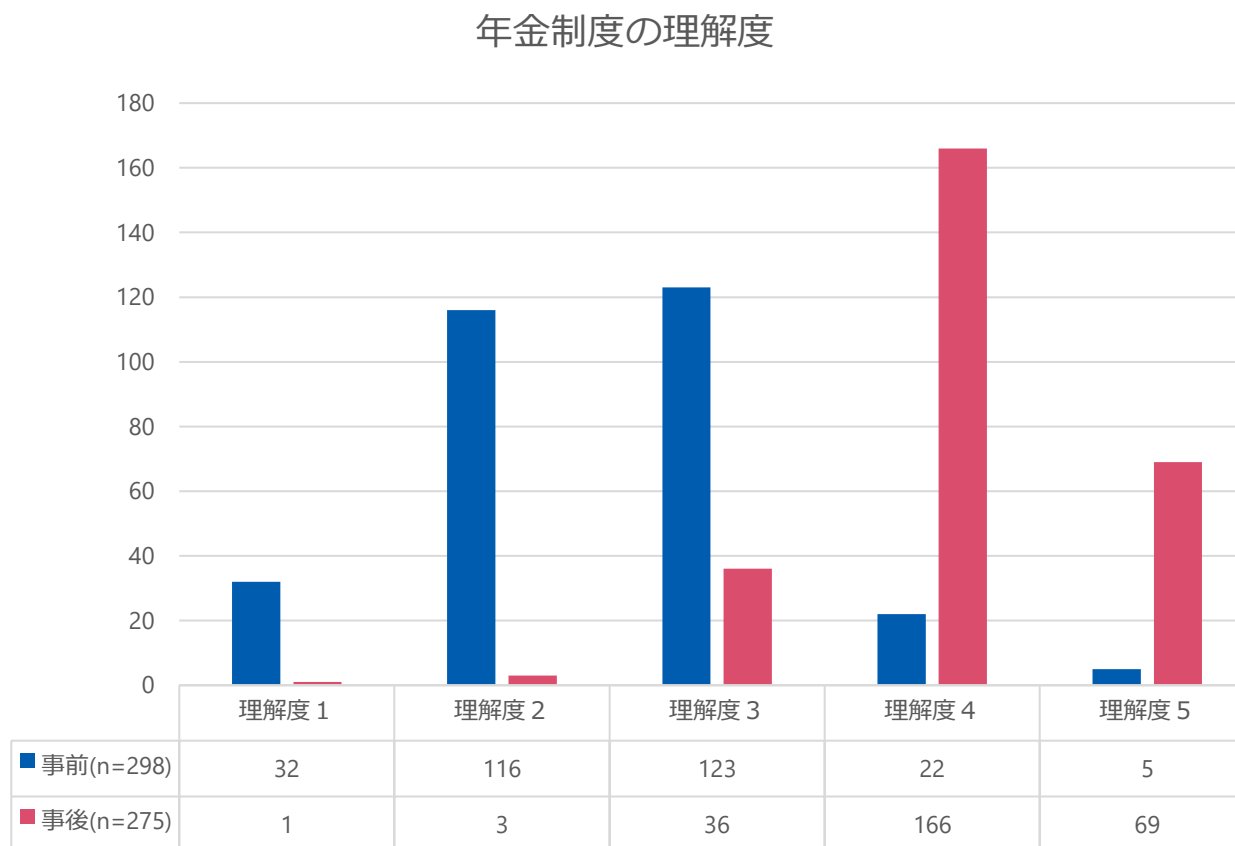
令和8年6月4日 関西学院大学



「学生との年金対話集会」 令和8年度の開催状況

■ 学生対話集会の出席者の理解度の変化

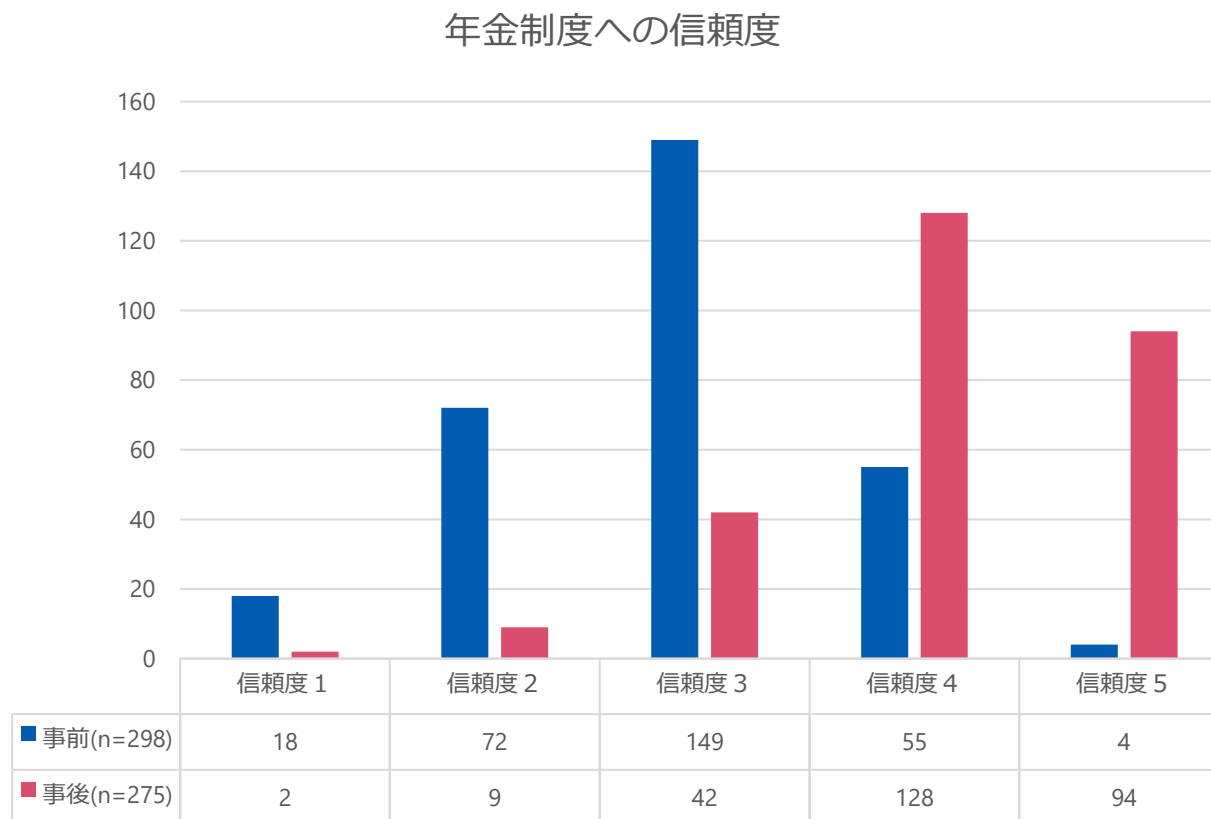
【理解度】（不十分）←1-2-3-4-5→（十分）



「学生との年金対話集会」 令和8年度の開催状況

■ 学生対話集会の出席者の信頼度の変化

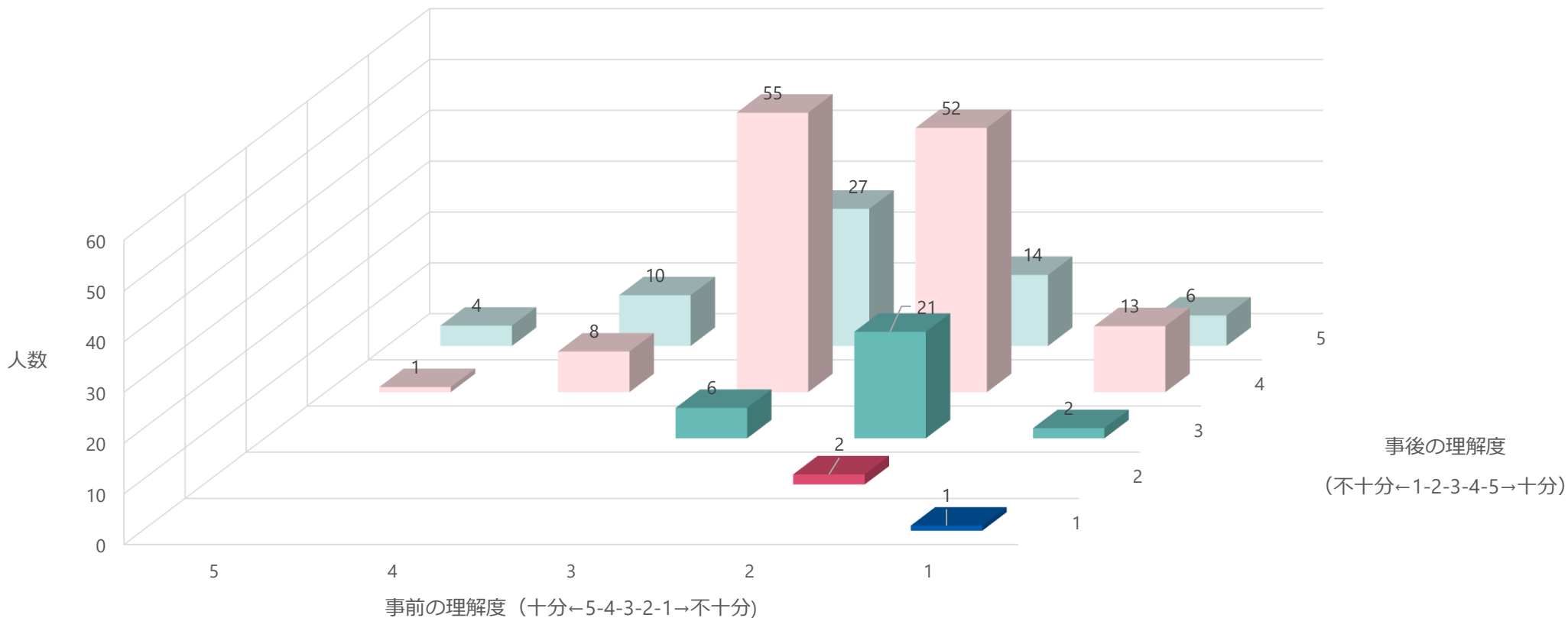
【信頼度】(信頼していない) ←1-2-3-4-5→ (信頼している)



「学生との年金対話集会」 令和8年度の開催状況

- ・全体的に対話集会を実施することで理解度が向上している。
- ・事前の理解が不十分と回答した層ほど、事後の理解度が大きく変化している。

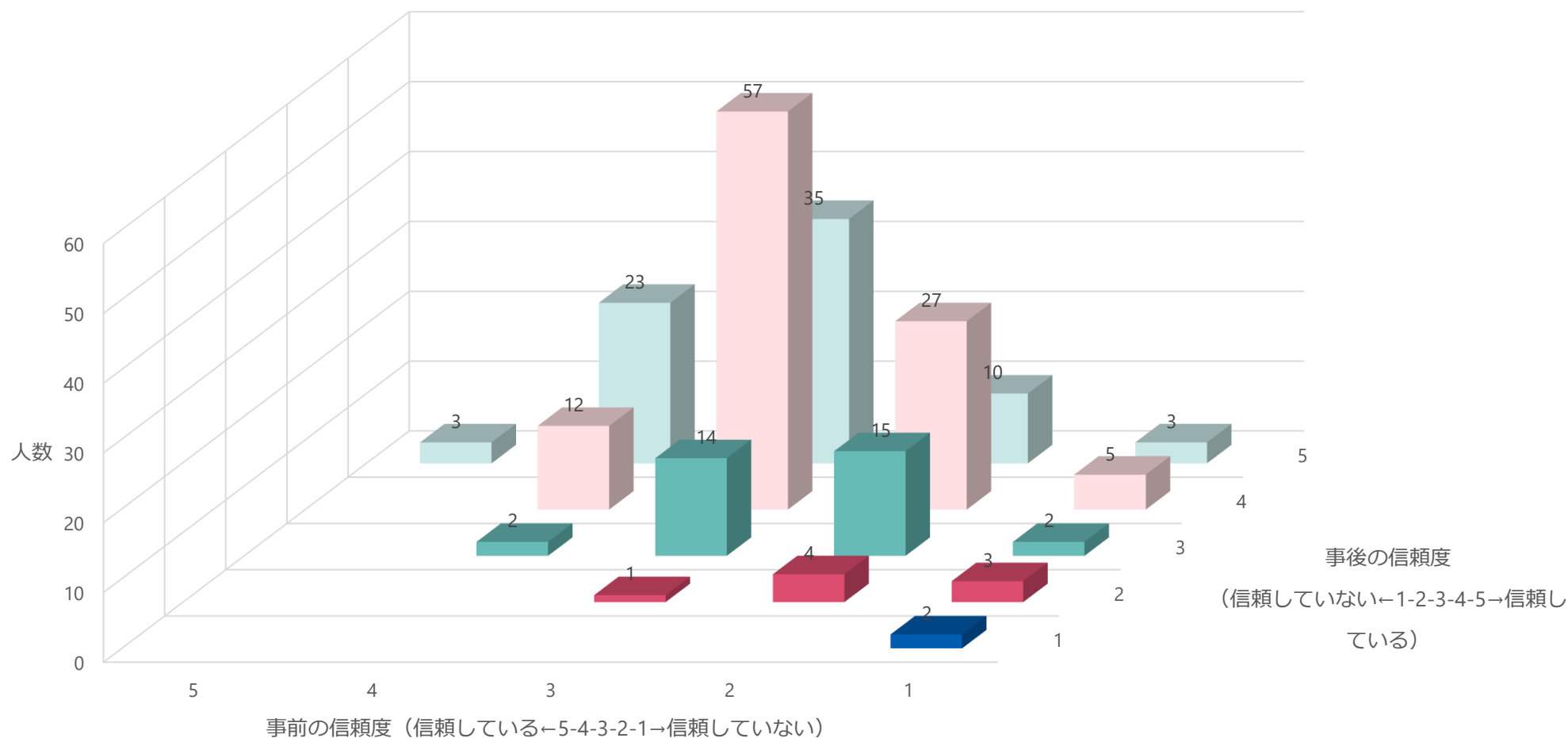
個人の理解度の変化(n=222)



「学生との年金対話集会」 令和8年度の開催状況

- ・全体的に対話集会を実施することで信頼度が向上している。
- ・事前の信頼度が中程度の方の信頼度が特に大きく増している。

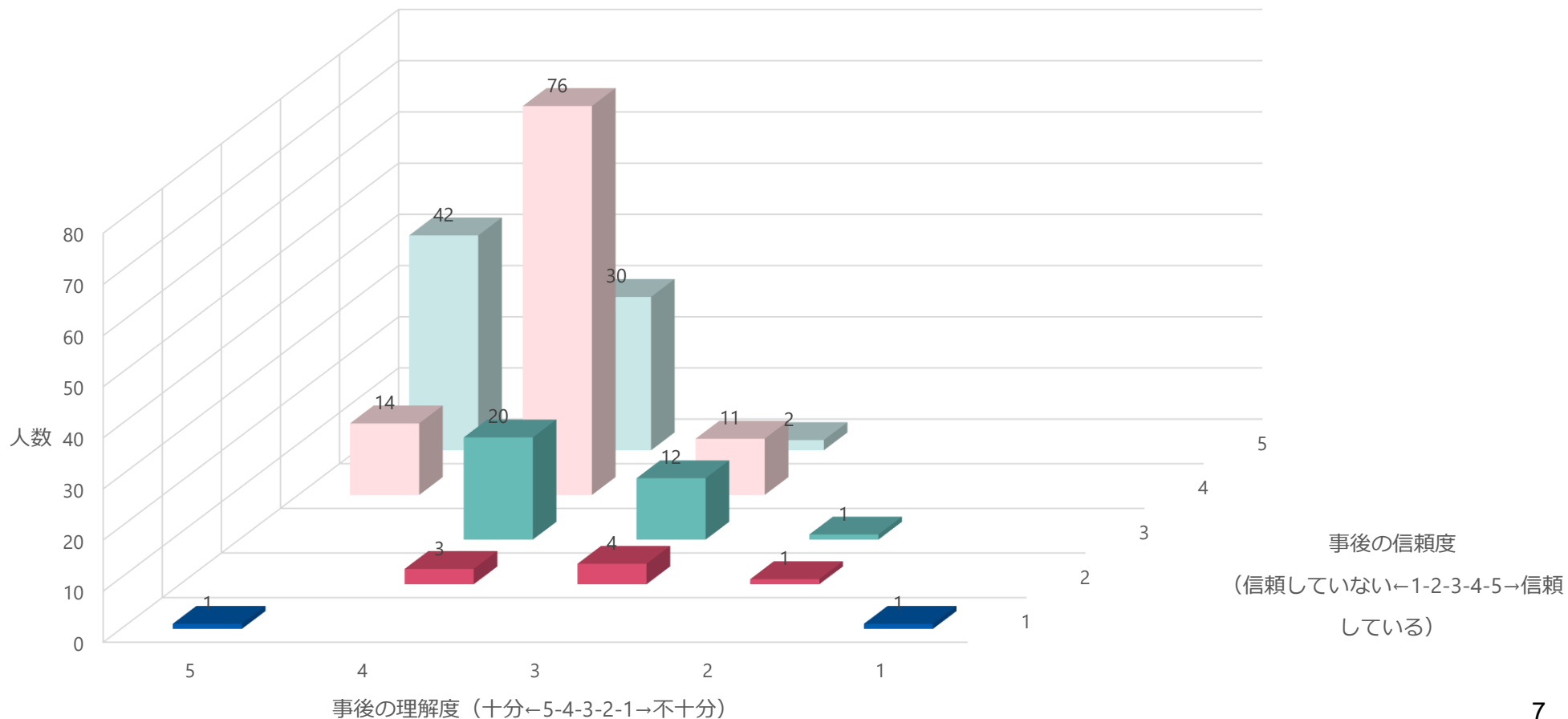
個人の信頼度の変化(n=222)



「学生との年金対話集会」 令和8年度の開催状況

- ・全体的に対話集会を実施することで信頼度が向上している。
- ・事後の信頼度が十分だった層ほど、事後の理解度が比較的大きく増している。

対話集会後の理解度と信頼度(n=222)



(参考) 年金対話集会アンケートフォームにおける質問項目 (事前・事後)

【事前アンケート質問項目】

- 年金制度の理解度を教えてください。
理解度 1～5 の選択方式
- 年金制度の信頼度を教えてください。
信頼度 1～5 の選択方式
- 信頼度について、その理由を教えてください。
(記述方式)

【事後アンケート質問項目】

- 対話集会後の年金制度の理解度を教えてください。
理解度 1～5 の選択方式
- 対話集会の満足度を教えてください。
満足度 1～5 の選択方式
- 対話集会に参加する前と比べて、信頼度がどう変化したかを教えてください。
信頼度 1～5 の選択方式
- 本日の対話集会に参加して、一番印象に残ったことを教えてください。
(記述方式)
- もっと知りたかったことを教えてください。
(記述方式)
- 本日の講義についての印象や、グループワークの感想など自由に教えてください。また、皆さんをはじめとした若年世代の方に、年金をより知っていただけるような方法
(例：若者に人気のインフルエンサーXXとのコラボ等) について、アイデアがあれば教えてください。
(記述方式)

(参考) 年金対話集会事前アンケート

■ 令和8年度年金対話集会の出席者からの主な意見 (アンケート結果から抜粋)

【事前】

(年金制度への信頼度に対する選択及び理由について)

(信頼していない) ←1-2-3-4-5→ (信頼している)

- (信頼度2) 現役世代が高齢者の年金を支えるという構造上、少子高齢化が進み続ける限りは限界があるから。
- (信頼度3) 将来、若年世代の人が損をするようになっているとよく言われるが本当にそうなのか分からないから。
- (信頼度1) 少子高齢化で労働者と給付者の割合が伴ってなく近い将来廃止される制度だと思っているから

【事後】

(一番印象に残ったこと)

- 年金制度について100年先までの見通しを立てていることに安心感を覚えた。
- 実際に自分がもらえる年金額をまとめてみて、思ったよりはもらえるのが分かったこと。
- 年金の仕組みを詳しく知らなかったので、どのように運用しているのかがしれたのが印象的でした。
- 高齢者1人を支える現役世代の人数が少なくなるということばかり聞いていたが、年齢で分けずに働いている人という視点に立つと、1人を支える人数は将来においてもあまり変わらないことを始めて知り印象に残ったし安心しました。
- 年金シュミレーター時どれくらい年金がもらえるのかを知ることができたことが印象に残りました。10万円くらいかなと考えていたんですけどそれ以上にももらえることが分かり驚きました。

(もっと知りたかったこと)

- 年金の財源が少子高齢化に伴い不足することはないのか、その場合消費税や所得税など年金制度を維持するために他の税金が上がるのではないか気になりました。
- なんで世間で年金は問題視されているのか。同じ割合で保険料を払っているはずなのに、なんで今は不満が多いのか。
- 積立NISAとiDeCoについて、自分の将来の所得と考えながらどっちがとくか知りたい。

(本日の講義についての印象)

- 年金は正直将来的に持続可能な仕組みではないと思っていましたが、様々な仕組みがあって持続できるようになっていると分かり安心できたと共に、年金を払うことの重要性がよく分かりました。
- まだ本格的に年金を納めていないことや受給している生活をイメージしにくい年齢なこともあり、中々実感のある質問ができなかったと感じました。ただ、今、年金の専門家の話を聞いたので後々もっと自分事感覚が強くなった時に知識として使えるのかなと想像しました。
- グループワークを通して、年金の重要性を改めて知ることができました。高校の授業などで年金についての授業を今回のようにしていただく機会があれば若者も年金についての知識がよりつくのではないかなと思いました。

(広報のアイデア)

- YouTubeのShort動画を使うのはいいと思った。年金のゲームとかがあっていいと思った。
- 若年世代に年金をより知ってもらう方法としては、YouTubeやTikTokなどのSNSを活用し、若者に人気のインフルエンサーやお笑い芸人とコラボして分かりやすく解説することが効果的だと思います。また、もし20歳から年金を納めなかったらどうなるかや障害年金を受給できるケースなど、身近な事例を用いた動画やシミュレーションを発信することで、若者の関心を高められるのではないかと考えました。